

▼今月の『ポピー』の国語で学習するおもな内容と大切なことがらです。

□の数字は、教科書のページ数です。

2年 おにごっこ

□ 83~92

●「おにごっこ」について書かれた説明文を、遊び方を表す大事な言葉をとらえながら読み取ります。

おにごっこ

- どんな遊び方がある？
- なぜ、そのような遊び方をするの？
- したことがある遊び方や、知っている遊び方はあった？

【例えば】

- 逃げてはいけな所を決める。
- おには捕まえやすくなる。
- 「ここにいれば安全」な所を決める。
- 逃げる人が簡単に捕まらない。

自分たちで決まりを作って遊べるワン。



1年 たぬきの糸車

□ 74~85

● おかみさんのまねをする、いたずらたぬきのお話です。

- 1 山おくに住むきこりの夫婦のところ、たぬきがいたずらをしに来る。そこできこりは、わなを仕掛けた。
- 2 おかみさんが糸をつむいでいると、障子にまねをするたぬきの影が……。
- 3 ある晩、おかみさんは、わなにかかったたぬきを助けてやった。
- 4 雪の間留守にして、春に小屋に戻ると、たぬきが上手な手つきで糸をつむいでいた。



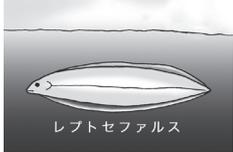
4年 ウナギのなぞを追って

□ 87~100

● 日本のウナギがどこから来るのか。たまごを産む場所を探す調査に出た筆者の体験記です。

- 一九三〇年ごろ、ウナギがたまごを産む場所を見つける調査が始まる。
- 一九六七年、台湾の近くで、初めてレプトセファルス（ウナギの赤ちゃん）がとれた。
- 一九七三年、筆者が調査に加わる。

より小さなものを探して、海流をさかのぼって調査していくのね。



3年 ありの行列

□ 95~104

● ありの行列ができるわけを書いた、説明文です。

● ウイルソンの実験や観察について読み取ります。

- 1 ありの巣から少し離れた所に、砂糖を置いた。
- 2 ありの行列ができる。
- 3 ありの行列ができた。



6年 海の命

□ 217~232

● 海で死んだ父のあとをついで漁師になった太一の、成長の物語です。

- 1 瀬の主（大魚）との戦いに敗れた父。
- 2 太一は与吉いさに弟子入りし、教えを受ける。
- 3 「千びきいるうち一びきをつれば、ずっとこの海で生きていけるよ。」
- 4 何年かのち、与吉いさも海に帰り、太一は瀬にもぐるようになる。
- 4 ついに瀬の主に会う。太一には、大魚はこの海の命だと思えた。

瀬の主と太一が対峙する場面は、すぐトドキシたよ。



5年 想像力のスイッチを入れよう

□ 187~198

● 身近な生活の中や様々なメディアから得る情報との向き合い方を考える論説文です。

● 「マラソン大会で、順位は前回より五位下がった。」

何を大事と思うかで、発信する内容が違ってくる。

「でも、タイムは三十秒も縮まった。」

● メディアが伝える情報には、送り手側の思い込みが混じっている可能性がある。

冷静に見直す姿勢と、伝えていないことに想像力を働かせることが大切。